

MS委員会 県外 研修報告

参加者 7名



5月24日(火) 25(水)



長野県安曇野倫理法人会訪問

MS委員会 委員長 渡辺 稔

レポート 韮崎市倫理法人会
幹事・MS委員 白倉義久

去る5月24日(火)に、山梨県倫理法人会MS委員会の皆さんと、MS県外研修に行ってきました。安曇野倫理法人会の会長あいさつがあり、その後、山協建設さんの朝礼実演がありました。山協建設の社長さんのお話では、朝礼するようになってからは会社がまとまり始め、朝礼を取り入れる前は、だらだら始まり活気がなかった。朝礼をするようになって一ヶ月で会社がガラッと変わってきた。

現場の生の声を聞いて私たちも実感できました。

■安曇野倫理法人会・倫理経営講演会 テーマ「トップを支える家庭力」

本日の講師 松本さんのお話

松本さんは四国の高松から来県されました。今度の震災を通じて日本が大きく変わるだろう。日本が大きく変わる時期には新しい時代に向けて色々なことをやっていかなければならない。

まずは身近な家庭から.....

松本さんは、仕事のために家族を犠牲にしてきた。家庭は社会生活の基盤であり家庭が小さな組織である事に気付いた。技術的なものだけではだめだ。家庭も豊かになった半面家族の中の絆が壊れてきている。家には物がそろっていて豊かだが半面家庭がないがしろにされて来た。31歳の時に測量の仕事を奥さんと二人で始めた。最初は、奥さんと食べられればいいと思って始めたが、会社を大きくしたくて社員を雇った。何とか仕事を見つけてやって来たが、50代に入り不況になって、会社の利益が薄くなって来た。働いても働いても利益が出てこない。家庭の中はだんだんおかしくなり、社員に給料さえ払えない。

そんな時に倫理の話があった。ある時、倫理の先生に奥さんや社員のことなどの愚痴をこぼした。倫理の先生はこのままだと潰れるてしまうと思っただけで、会社を創る前に家庭を創れと言われた。

まず手始めに奥さんに朝の挨拶からスタート、そしてトイレの清掃、倫理の勉強などを積極的に行った。そうこうしている内に50代を乗り越えた。そんな時期にバブル景気により会社も何とか持ちこたえた。うまくいっている時はいいがワンマンになると会社がおかしくなる。うまくいっている時こそ、家庭状況を見ながら進めていく事に気付いた。

「仕事の安定=家庭の安定」

時代が変わる。会社の仕組みが変わる。家庭が変わる。まず足元をしっかりとしていこう。これから益々厳しい時代に入っていく、倫理実践を基本に乗り越えていこう！と、松本さんより最後の締め言葉があった。

私も倫理に入り色々な方と出会いました。一番大事な事は、「気づく」事だと分かりました。気づくことで、色々なアイデアや仕事が増えてきます。倫理に入り最近気づきが沢山あります。これからは気づきの旅に行こうと思います。翌朝、安曇野倫理法人会のモーニングセミナーに各MS委員の方と出席しました。安曇野倫理法人会は、特に女性の役員が多く山梨には無い雰囲気がありました。山梨県でも女性会員を増やして行きたいと思います。

